

平成30年度屋外広告士試験

実技試験問題

広告デザイン

試験時間：14:40～16:40（退出可能時間：16:10～16:30）

次の注意をよく読んでから始めてください。

1. これは「**広告デザイン**」の実技試験問題です。表紙を除き2ページあります。
2. 解答は指定の用紙を使用してください。
3. 解答用紙には、所定欄に受験番号を記入し、氏名は記入しないでください。
4. この問題冊子の余白は、自由に使用して構いません。
5. 下書き用の白紙は、解答用紙に使用しないでください。
6. 試験終了後、解答用紙は必ず提出してください。
7. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰っても構いません。

あおぞら町では、子供達の食育を促進するために、古くからある商店街の一角にのこされた民家を改修し、そこにこども食堂を開設することになりました。改修予定の民家は、写真のような木造2階建て、切妻屋根の建物です。

この建物の1階部分の壁面を、この施設にふさわしい自家用の広告物とする予定です。下記の条件にしたがって、そのデザインを提案しなさい。

《条件》

- 1) 広告物には、「あおぞら町」「こども食堂」の文字を必ず入れること。
- 2) 広告物には、切り文字等の立体的なデザインのものはいないこと。
- 3) この建物は、商店街のメインストリートから幅4mの街路を30mほど入ったところに位置しているが、商店街からはこの写真の壁面がはっきり視認できる。
- 4) 広告物は、**建物の壁面全体を表示面として提案することができる。**
- 5) 現在の壁面の色（黒）は、そのままでもよいし、異なる色に塗り替えることもできるものとする。
- 6) 4つある窓の位置は変更できない。
- 7) 建物の手前の空き地は、食材等の搬入のためのサービスヤードとして使われるだけなので、ほぼ写真の状態の壁面が街路から見えている状態にある。
- 8) 広告物には、文字のほかにこの施設にふさわしいイラストなどを付加してもよい。
- 9) 答案スケッチは、配布された解答用紙にある建物の1階部分の立面図に描くこと。ただし、外形寸法等は記入しなくてよい。

《評価の要点》

- 1) 適切な大きさが設定され、商店街の街路から十分に視認できるか。
- 2) 木造切妻の建物の外観と調和しているか。
- 3) こども食堂という施設のイメージを表現できているか。
- 4) 答案スケッチの表現技術がデザインの意図を十分に伝えているか。

《解答用紙並びに支給材料》

- 1) B4ケント紙1枚(ヨコに使用)
- 2) 下書き用の白紙(B4)



